京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　一枚金二錢　一ヶ月前金三十錢　三ヶ月前金九十錢　六ヶ月前金一圓八十錢　郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料　五號活字十七字詰一行金五十錢　特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　岡本久太郎
印刷人　松久繁一郎
京城西小門通　發行所　京城新報社
電話六六三番振替口座京城四五六番
仁川宮町三丁目　電話二一一番　仁川支局
東京市京橋區木挽町七番地　東京支局

●冥府の伊藤公へ（十二）

恐々縮々庵主人

●閣下が統監時代にあつては新聞紙の發行は屆出式なりき當該官廳に向つて一片の屆出書を差出し保證金を納付すれば（而も保證金は中途撤廢せられたり）夫れにて事足りたるなり言論機關の誕生頗る容易く金と人さへあれば何日からでも筆を揮ふを得たりき然るに閣下の後任曾禰子の時代にいたり新聞紙規則改正され從來の保證金は三ヶ年の後には倍額を徴する事に定められ同時に更に從來の屆出式は全然一變されて認可式となりたりツマリ新聞紙の發行はお上の意見次第にて可否共に決定さるゝにいたりたるなりされば當時一般の新聞紙は筆を揃へて新聞紙規則改正の非立憲にして非文明なるを絶叫し當局が言論の自由を拘束するの不法なるを論じ批難百出之れが規則改正の撤廢を迫つて止まざりきされど當局は平然として之等の言に耳を傾けず飽迄此の規則を楯に取りて言論の制裁を嚴にしたり所謂前述の『夫れで氣に障つたら毆るなり撲つなり勝手たるべき事』の擧に出でんとして對に拳骨を固めたるなり撲りやうの如何に依りては其の場でコロリともまゐり申し兼ねまじき形勢にとはなりたるなり

●閣下果然此の新聞紙規則は其の後屢々拳骨を固め時に價を發して發行の署名人を毆れり毆つて而して後卒倒せしめ一週間二週間乃至甚だしきは三週間に亘りて漸く蘇生せしむるを常とすされど卒にもコロリと參り申す程に撲られしものは一もあるなし、蓋し當路の撲り加減も亦之れ工合ものなる哉而も觀つて現下における言論の制裁は如何との質問に對して以予は遺憾ながら答ふるを欲せず又批評の趣味を有せず唯前述の所謂『言論の自由を窘縮せらるゝや否』の觀あるは果して何の象ぞ」の一語を以て答へんとす而り予は斷言せざることを斷言す敢て繰り返す『窘縮せらるゝや否の觀あり』と

●閣下縁結びの神と成り濟ませる閣下は斯かる竪苦しき議論を聞く事の偶に堪へざるは蓋し想察に餘りありされど事實に思を閣下の心中に致して不遜ながら現世の事情を閣下に知らしめ併せて閣下の一顧を煩はさんとする予の衷心も察せられたきものなりされば之れが煩瑣を忍び心を空うして今暫らくの間聞知あらん事を冀ふ而して予が徹頭徹尾趣味を有せざる現今の當局對新聞紙に就ての批評論述は願くは之れを止めしめよ予は之れより在鮮内地人の情況及び將來に就て聊か論述するところあるべし

●閣下昨今在鮮内地人の數は約十七萬と算せらる殊に併合後は内地人の渡鮮するもの日に多く何れも向ふ所の方面に依りて其の業に從事しつゝあり就中京城の如きは先年龍山を併合し内地人の人口實に五萬に達せり商業の殷賑市街の繁華蓋し日本有數の都會と比するも敢て遜色を見るなきにいたれり（八日午後二時稿）

寄書

●總督政治の革新を促す（上）

日本法律學士　岩本英夫

立憲政治の要義は憲法の條項に則り國政を料理するにあり故に立憲國民は憲法の承認する範圍内に於て言論著作印行集會及び結社の自由、所有權の確保居住及移轉の自由其他臣民の義務に背かざる限りに於て信教の自由を有す學者之を憲法の附與する臣民の三大自由と稱す故に立憲法治國に於ける爲政者は臣民の三大自由を確保し憲法の條軌を脱せざる樣勗めざる可からず然るに韓國合邦前後今日に至る迄で寺内總督の執り來りたる爲政方針は言論の抑壓居住移轉の制限既得職業の侵害等一として憲法の條軌を脱せざりしを保し難し余は尚一步進んで憲法違反なりと絶叫せんとす余曾て寺内總督の施政に付總督府某學者と會談す某學者曰く朝鮮に於ては帝國憲法が行はるゝや否やは學者間の問題なるを以て寺内總督が憲法の條軌に則り施政を爲すや否やは總督の勝手なればサアベル政治を行ふも專制政治を行ふも憲法の條軌を脱したる者なりと斷言するを得ずとの事なるが其言一理なきにあらざるも總て政治の本義は臣民の自由を保持し臣民を基本となさゞる可からず臣民なくして政治の存在する理由なし亦某學者の如きはわが國法を解せざる者と云はざる可からず朝鮮に於て帝國憲法が行はるゝや否やは問題なりしも現今朝鮮に於て憲法の行はるゝは確然たる事實なりと云ふを憚からず何となれば緊急勅令を以て寺内總督に對し制令權及朝鮮に於ける臨時財政の處分權を附與したるは朝鮮に憲法を行ふ故を以て憲法の條軌に則り附與せしにあらずや加之寺内總督の一味党なる前内閣に隷屬する安廣法制局長官は朝鮮にも憲法が行はるゝ旨本年の帝國議會に於て宣言せり故に朝鮮に憲法の行はるゝは火を見るよりも炳乎たり朝鮮にも憲法の行はるゝ上は憲法の條軌に則り臣民の三大自由を認め臣民の幸福を增進する樣勉めざる可からず然れども朝鮮合邦前後今日に至るまで寺内總督が臣民の三大自由を侵害し憲法の條軌に違反せしとて過去時代に於ける爲政者は千變萬化の秘術を盡し公安の保持を斗り國政を行ふは政治家の本領なれば假令臣民の三大自由を侵害する行爲ありとするも余は默過するに躊躇せず國際公法上合邦を爲すには當事國と兵火の中に合邦をなすあり威嚇を以て合邦をなすあり又平和條約に基き合邦をなすあり朝鮮の合邦は客觀的平和條約の合法なれども動もすれば世界の大勢を知らざる不心得者あり陰に國權の回復を圖り平地に波瀾を起さんとす故に平和中消極的禍亂に基く合邦なりと推定するを憚からざるなり平和中消極的禍亂に基く合邦をなし兵火を交ゆるに至らざりしは賢明なる寺内總督の功績に豪毅勇猛思慮果斷に富み陸軍部内中俊才の聞れ高き明石將軍の手腕に依るものと斷言するも過言にあらずと信ず

外事一束

△墨國　大統領選擧に際し現統領マデロに反對せる候補者エヲス將軍政見發表せんとして反對黨の妨害に逢ひ附近大衝突死者五十名負傷十六政府軍隊を繰出しエヲスも負傷し掠奪されたり猶幾多の流血を見んと惧れなり

△桑港の米國勞働會々長三萬の勞働者を率ひて市長改撰の示威運動すと

△四川　省民鐵國反對群高く不穩の擧動あり總督出兵說ありしが端鐵道大臣親しく成都に赴き鎭撫す可き旨攝政王の電命ありと地方刑氏消滅の一策

△佛統領ファリエール九十隻の艦隊をツーロン軍港に集め壯嚴なる觀艦式を擧ぐ　夜を徹して見物せる國民は非常なる歡呼し對獨談判に威嚴を保つの希望漲ると共に獨陸軍の佛境演習あり今佛獨示威運動を始む見物大喜

△土國　虎病漫延し死者百五十小亞細亞コルム附近の住民同病の爲全滅すと

△白義　耳首府の獨佛公館及領事館の壁上赤色を以て警告文を記す者あり要に曰く『獨佛戰爭す可からず若戰はゞ人民が戰爭を否認する者なるを知らしめん爲爆烈彈を使用す可し』と白國政府此文字を抹殺し兩公使に謝罪す

△佛陸　軍を巡視したる英將軍記者引見を拒み且巴里所感を談らず意味深長

△西事　府一帶回教徒の亂猖獗を極む總督增兵鎭撫に焦慮す大學の廣甚多

△南清　凶作長江汎濫蘇州の民饑饉に上海の米價騰貴す暴動蜂起の報頻々也

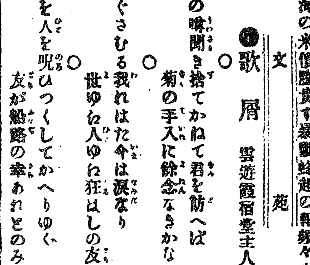
文苑

●歌屑　雲遊霞宿堂主人

○世の嘲聞き捨てかねて君を訪へば菊の手入に餘念なきかな

○なぐさむる我れはた今は涙なり世ゆく人ゆく狂はしの友

○世を人を呪ひつくしてかへりゆく友が船路の幸あれとのみ



召使れ初

第百四十五回　黑法師

『御恩は忘れませぬ、私の心知らせらるゝは、あなた樣、中座の罪御免しでござりませ』と一語は涙、國尾は痛はしげに『雲は晴るゝ時でござります、氣を長う時節を御待ちでござりませ、御前樣へはお執成し申し上げるでござります』

『萬事をお願ひ申しまする、今日まで御厚恩、いつか一度は報ひ奉る時もあらうと、樂んだ心も反古、却て仇で報し奉る、身の不幸を恨み奉る外ござりませぬ』

これお局最後の詞なりき、他の人々には默禮、奥方御前に平伏したるのみ、暫時は顏をだに擡げざりき。

心あるも心無きも、お道を深き陷穽に突き入れんとして、さまざま手術を巡らしたる當の敵も、皆暗然として涙を呑みき、一座は水を打ちたるが如く靜なり。

お道は思ひ切て立ち上る、或はこれが今生の御別れになるかと思へば、踏む歩も前や後、思ひ返しても思ひ返しても、生憎にはふり落つる涙、目皮に滿ちて、物の黑白も見わ難きを何とか過ぎ、二之間三之間は夢うつゝの境に過ぎ、お廊下にありし草履を引き掛け倒れるやうに歩みかゝるを、白き眼に凝と見詰め居たる相生は、つかつかと三の間の端まで出で、宛ら罪人にでも叱咤する如き聲。

『お道どの、お待ちなされ』

されどお道は聞ても聞ぬ風して、二歩ばかり前み行きぬ、人間の身にある事を興かされて再び其處に面を曇らす形なきを悲むなりき。

『お道どのお待ちなされ』と相生は更に呼び掛け『あなたのお草履が異います』

その草履はお年寄澤野樣お物でござります』

涙に濕みたる目に見損じて、一代取り返し付くまじき失策したり、お道ははつと立ち止る、澤野一派に取りては天より降りたる如き好き機會なりし、相生は嵩にかゝる。

『お道どのはお草履盜人でござります、皆さまお氣をお付けなされませ中年寄お道さま、お草履をお盜みでござります』

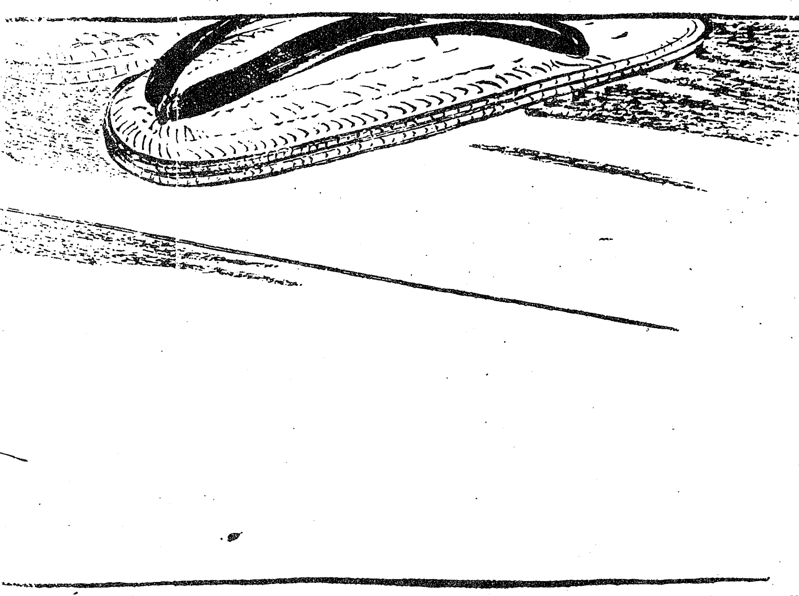
國尾若江一派の者は、痛しげにお道を見たれど、現在の失策、執成すべき詞も無く、徒に胸を騒がすのみ、お道は漸と心を鎭めて、以前の處まで歸りたるが、廊下に兩手を支くばかり腰を下げて。

『思ひ掛けぬ不調法、澤野樣お草履と心も付かず、麁忽は宥恕し置かれませ』と草履を戴くばかりにして、手づから舊の處に置くを、相生はじろじろ見て。

『あなたのお草履は何でござります、この紅いお鼻緒のをゝ、これに在る、付いたこれでござりまする喃、斯う併べて見ると善く分る、澤野樣お草履と比べては雲と炭、此方へお目が移る筈さま、お躰をお痛みなさるのに不思議はない、日外から此廊下で、折々お草履の紛失するは、皆なお道さまの所爲でござりまするな、お召使の癖が夜中にお築地を乘り越えたも、これの秘密の御用かも知れませぬ、皆さま御油斷遊ばしますな、當お奥には大それた盜人が居ります』

『これこれ』と澤野は故意とらしう叱りて『左樣には云はぬもの、御前樣も在らせらるゝわの、國尾どのも御列座ぢやわの』

お道は去るにも去られず廊下の端に跪居りて無念の涙に暮れ居たり。



京城新報

重米國外交方針

新內閣の外相

新內閣組織後、日を閲する茲に十餘日間して新內閣に對する世評は區々なるも、大体を總括すれば好感情を以て迎へらるゝものゝ如く、然かも反對黨すら惡罵を之れに加へざるの態度を執れるものは、其理由想ふに種々あるべきも吾人の見る所を以てすれば、政權官僚系の手を離れて民黨政治家の掌中に歸したるが爲に、內閣員の顔觸れ從來に比し著しく趣を異にせるものあるに加へて、民間の經濟事情に通ずる山本達雄氏を藏相に、外交官中の一異彩として且つ春秋に富める內田康哉子を外相に据へ、財政、外交の二大要職を西侯が其與黨をして占有せしめざりしもの確かに新內閣好評の一標的に置かれたるを信ぜずんばあらず。

顧ふに、歷代の內閣が最も難局とせしものは、財政と外交の二問題にして、內閣の瓦解も亦此二問題に對する方針の如何に因て來れるもの多かりしは、過去の事實に徵して疑ふ可くもあらず之を知悉せる西園寺侯が、山本內田兩氏を拔いて此難局に當らしめむとする其意や測り知るべきのみ。吾人は今後に於て、山本藏相が我財政を如何なる方針に據て整理せむとする乎、暫らく新藏相の手腕に委し、更には、內田子を外相とせる新內閣の外交方針を觀測せむと欲す。

そも、國際政局に於ける現在我國の地位は、對露、對米の關係に由て左右せらるゝものと云ふも不可なきなり。之を東亞の政局より判斷せむに、淸國に力を添ゆるものゝ米國を主として英佛之に加はり。一方に露國ありて獨逸之を援けむとするの傾向あり。若し此間に扞格を生せむか、兩者の中に立つて相互の平衡を保たしむるものは、東亞に國を建てる我邦を措ては之を他に求む可からず。併し目下の形勢が必ずしも斯境に進せりと斷定すべからざるも些ー中らずとも遠からざる可し。然り與に東亞は我外交舞臺なり。此舞臺に立つ我邦は外交の中心點を、露とせむか米とせむか、是れ我外交上の前途に横はれる大問題なりとす。然るに新內閣組織に當つて駐露大使本野男の如きも外相の候補者に擬せられしが、終に駐米大使內田子を拔くに至りしものは我政府の外交方針が對露中心主義たらんとしたるも一轉して對米中心主義に移りたるの證據なりと忖度するを憚らざる也。それ、我國に於ける既往外交事蹟に顧みよ、榎本武揚子、西德二郎氏等が露國公使を經外相たりし時代は親露主義を以て第一義となし林現遞相加藤現駐英大使小村前外相等が駐英大使より入て外相の椅子を占めし時代は是我外交の中心は英國にありし即日英同盟が此等三氏に依て大成せられたるを見て知可く。近く東亞に於る列强の勢力角逐時代に入り。對英中心主義は漸く露國中心に傾かむとす。ものありしは何人も疑を容れざる所なりとす。惟ふに此現象が更に一轉して米國を外交中心となす事とならむか。我外交の一大進歩たるや言ふ迄もなく之に由て亨くる我邦の利益甚だ大なるものあるや必せり。元來、我邦開國當初より米國の我に寄與せしこと尠なからざる事實及びポーツマース條約に就て米國大統領が日露平和の爲に盡力せし等幾多の關係より、日米の親交は他に超へて深きものありしに拘はらず。最近兩國の親交は舊の如くならず、延て兩國民間に危惧の念を懐かしむるに至りしものは之を要するに我外交當局者が、日米間に於ける深き干繋を忘れて、米國を外交の中心圏外に置きたるの結果なりと言はざるを得ず。特に東亞大陸に於ける我國力の充實も、日米の親善に待たずむば、我の將來に寒むるべき不利益實に測る可からざるものあり。於是乎、我政府の外交方針が吾人の忖度するものと一致すべきは寧ろ當然の事なりとす。況や、日米親善の其の度を昂ふすると共に、東洋平和の基礎愈々鞏固となり、彼の黄禍論に驚ける無謀なる軍備擴張論も隨て消滅するに於てをや。あゝ日米親善は誠に國家のため慶すべき也。

東京電報

▲**九州行幸期決定** 大元帥陛下には九州に擧行の大演習御統監の爲め來る十一月九日東京御發輦の事に御治定相成りたり

▲**大元帥陛下御旅程** 十一月九日東京御發輦の大元帥陛下には途中靜岡、京都、山口に各御一泊十一日久留米大本營に御到着の豫定

▲**遞相の局長召集** 新任林遞信大臣は來る二十二日全國遞信管理局長を東京に召集し二十三日午前十一時本省に於て新任の挨拶を述べ一場の訓示を爲す由

▲**明年度豫算** 八日の閣議に於て明年度豫算の大体方針を決定せしが新要求は殆んど打切らるゝの模樣なり

▲**ブヒ兩國交戰** 華盛頓來電に依れば米國國務省にては南米共和國ブルグツイ、ビル二國の關係險惡に陥り開戰切迫せる旨報道に接したるがブルグツイの暴徒はラツサ駐箚ビル公使館を燒き拂へりと

▲**獨佛間の危機** 伯林來電に依れば保守黨の機關紙上伯林ポスト摩洛哥問題に關し獨佛兩國の交渉既に破裂せる旨報道せるも未だ公報なし

▲**天長節表彰團體** 來る十一月三日を以て表彰す可き優良市町村例人團體に對する內務省の調査は其後大に進捗し各府縣より申達の百八十余件中殆んど三分の一は調査を終り特に實地調査を要するものに對しては地方局員出張の序を以て視察せしむる等專ら審査を急ぎ居れり

▲**關門貨車聯絡** 下關門司間の貨物連絡設備中六艘の貨車船は已に竣成したるを以て愈々本月二十一日より貨車連絡を開始し關門双方より貨車の艦船に積込む事となるべく從來の貨物積替へ方法によれば關門間の輸送に廿五六時間を要したりしが今後は僅に五六時間にて足り時間を節約し得る事約二十時間にて貨物速達上多大の便利あるべし

▲**內田長官歸臺** 內田臺灣總督府民政長官は來る十二日出發歸任の途に就く由

▲**ジョ博士の仙臺行** ジョルダン博士は文部省を訪問し日米兩國に於ける教育制度學校教授状態其他種々談話を交換し九日當地發仙臺に赴きたり歸京後市內各學校を參觀すべし

雜報

●**鴨緑江架橋の竣成期** 鴨緑江の架橋工事は延長千チメートル(約八町)橋臺二個、橋脚十二個より成る大工事にして着手以來種々の障碍ありたるに拘はらず其工事頗る進捗し目下は鐵桁架設の工事中にて十二連の內既に十連の架設工事を終り殘るは僅に二連にて來る十一月中には全部竣成の筈なるが目下の工事は開閉橋の部分にして船舶通航の場所なれば同時に工事を進むる能はず爲めに其一方のみ工事を急ぎつゝあり而して竣成後は橋面の兩側に約八尺宛の道を設けて人車馬の往來に充て中央は汽車の通路となす譯なるか水面との距離は滿潮時二十六尺、干潮時三十八尺なり尙同橋竣成の頃には安奉線の工事も終了する筈なれは本年內には愈々歐洲との完全なる聯絡を見るに至るへし

●**鑛業出願近況** 昨今內地より朝鮮の鑛山状況を視察のため渡來するもの非常に増加したる如く殊に有名なる大鑛業家は概ね其技師を出張せしめ調査に從事なさしめ居れるも其出願の状況に就て聞く處によれば特別に昨今增加したる模樣なし寧ろ平常よりも幾分減少したるが如し殊に鑛業税未納のため廢業するもの續出する次第なるが之等の結果は漸次朝鮮の鑛業界に異面目なる企業者を招致する原因となるべければ昨今の出願者減少は決して憂ふべき點なしとの事なり

●**軍司令官巡視** 上田駐箚軍司令官は來る十二日龍山の諸部隊同十四日朝鮮步騎兵隊巡視の筈なるが隨行員は小倉經理部長、大西軍醫監、加藤軍醫部長及其の他の幕僚なりと云ふ

●**師團長檢閱** 松永師團長は來る十三日より向ふ十日間步兵第二十九聯隊管內(平安南北道)の諸部隊隨時檢閱の筈にて十三日龍山驛出發の筈なるが隨行員は岩井副官、吉田參謀其他部長の內若干名なりと云ふ

●**京元線建築列車** 別項記載の如く鐵道工事の状況は各方面とも着々進行中なるが龍山議政府間十九哩八分の工事は完成したるを以て既に軌條の敷設を終り建築列車は毎日双方間を往復し居れりと

●**第二師團交替期** 朝鮮駐箚の第二師團は來年四月を以て交替の筈なるが當番師團は來る十一月施行の大演習後に於て決定すべく多分第八師團(弘前)が來鮮すべしと云ふ

●**最近の鐵道工事** 既報の如く朝鮮鐵道工事は三南線百六十一哩、群山支線十三哩合計百七十四哩五分京元線百三十六哩三分にして三南線は四十六年中に京元線は四十七年中に何れも竣工の豫定なるが八月末の工事状況に付き當局者の語る處に依ば

▲三南線 太田連山間二十四哩六分は先日の水害にて一時開通を延期したるも去る八月十九日より運輸事業を開始し連山江景間十三哩二分は土工橋梁等の工事を終り目下は軌條引延はし中なり而して江景裡里間は土工工事六分橋梁工事三分通りを終り兩區間の工事として既に其の五分通りを竣工し群山支線十四哩八分は土工三分を終り木浦方面は測量を了へたるのみにて用地の丈量中なり

▲京元線 龍山議政府間十九哩八分は土工橋梁及線路の建設工事等全部竣成來る十月開通の筈にて議政府哨村里十七哩の土工は八分通り橋梁五分通りの竣成にて全區間の六分五厘を終へ哨村漣川間九哩四分は土工八分橋梁工事七分にして全區間を通し五分五厘竣成し漣川鐵原間十四哩九分は土工九分橋梁一分通り竣成にて全區間を通し三分五厘竣成し元山方面は十四哩斗りの用地丈量を了へたるのみなりと

▲京義線 改築工事は來る十月中全部終了の筈なり

●**定例長官會議** 九日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官列席政務の打合せを爲し正午散會したり

●**官有財產調查** 官有財產調查は目下各道に於て取急ぎつゝあるが何分專門技手不足の爲め豫定期日より多少遲延するの状況なるより頃日營繕課より技手二十餘名を北鮮地方に派し漸次調査を進捗せしめ居れりと云ふ

●**平南線の開通** 暴風雨の爲め岐陽新地洞間に故障を生じ七日來不通なりし平南線は復舊工事を終へ九日朝開通せり

●**商議役員會決議** 別項八日午後四時より日本人商業會議所內に於て開かれし役員會には商工調査會設置の件の外穀物市場建設の件に就き協議したるが右は他の商業會議所の意見と同じく尚早に決定し其の旨朝鮮日本人商業會議所聯合會の名を以て大阪神戸の朝鮮貿易商に宛て回答すべしといふ

●**商工調査會の委員** 既報の如く京城日本人商業會議所にては八日午後四時より役員會を開き商工調査會設置の件に就き協議し其の結果調査委員として左の諸氏を撰定したるが右は不日開會さるべき總會に提出して愈々設置の決定を見るにいたるべしといふ

▲同業組合代表員 酒造業組合組長乘古福藏、千葉泰樹、呉服商組合山下新太郎、紙商組合理事長中內松次、理事北內淺吉、京龍土木建築同業組合組長名草源一郎、小杉護八、時計商同業組合組長本島平兵衛、三浦覺馬、京城藥業組合組長渡邊悅之輔、副長古城龜之助、質屋同業組合取締池田長次郎、副取締南源太郎、古物商組合組長堀原末太郎、石油組合組長近藤佐五郎、陣內吉次郎、官煙草賣捌組合同森久兵衛、米穀元賣捌組合同梶原末太郎、運送業同業組合協同組合吉田使、酒商組合組長堀部潔、前田重聰、食料品卸商組合組長三上林太郎、同業商組合酒井好一、京龍精米組合組長天日常次郎、材木商同業組合堀內代和田佐一、森勝太郎、菓子同業組合伊藤茂三郎、江川文吉、金物商同業組合原口傳左衛門、瀬田政吉、牛乳搾取業組合組長篠田信一、商業會會長池田長兵衛、有價證券賣買問屋組合組長釘本藤次郎、陶磁器商組合出代宗四郎、京城釀工組合藤井啓興

▲組合外商工業者代表員 印刷業日韓印刷明石桐一、疊製造竹原一郎、貿易商瀬戸任田中榮六、文房具商森山美夫、履物商中村德次郎、小間物商河村辰三郎、硝子商三田政治郎、綿布商安藤孫兵衛、靴商富田普市、醤油製造村田源治郎、荒物商西崎嘉七、寫眞業岩田鼎、毛皮商馬場卯之助、木炭商國峯太郎、石炭商淺野長七、セメント池本純吉、和洋家具商森安吉、運送業內國通運會社管谷駒之助、洋服商小林源六

●**土地家屋證明激增** 今春來恩賜公債の賣買盛んに行はれたると內地人の移住者增加に伴ふ土地買入並に退官賜金等ありしを以て何れも不動產購入熱にひかされたる結果各府共土地家屋の證明者大に增加の傾向を示しつゝあるが殊に京城府管內は其の最たるものにして現に本年一月より八月末日迄に至る日鮮人の土地家屋證明願書受理數實に一万一千三百八十九件にして內[illegible]證明を與へたるもの八千九百九十九件なるが之れを昨年度の同期に比較せば二倍以上增加を示せり而して其の證明出願者は朝鮮人に多かりしと云ふ

●**朝鮮貴族總會** 九日午後二時より貴令町貴族會館に同族總會を開き會の細則其他に付協議をなしたり會長は朴泳孝侯副會長は閔泳徽子理事は尹澤榮侯李完用伯趙重應子金宗漢男趙羲聞男なりと

●**助產婦養成所現況** 京城助產婦養成所は一昨年の創設に係り爾來滿三年を經過せるも直接局に當るもの～監督者其の宜しきを得ざる爲め成績極めて惡しく既に本春頃は解散の悲境に陷らんとせしが斯くては折角の好事業も水泡に歸する而已ならず斯の如き事業は今後益々朝鮮に必要なるを以て所長徐大雅氏は茲に刷新を施し前監督者を解傭し助產婦三池某をして直接其の局に當らしめ將來の發展を圖りたるが日を經るに從つて成績好く生徒は熱心に業を修めつゝありといふ尚現今の生徒は二十九名修業年限は二ヶ年にて最初は日本語を教ね傍々學課を教授し居るが卒業の後は助產婦として獨立し得るやう夫れ〳〵方法を取るべしと

●**鮮人內地觀察の反響** 慶尚北道禮安郡宜東面居住李中寔は過般東拓會社の手催に係はりし內地視察團の一員なるが同人は觀察員中學識最も秀て又門地も高く同地方の勢力家なるが內地視察を了へて歸郷するや專ら教育事業普及の急務なること及び內地に接近して母國に於ける文化の事情に通ずるの必要なることを感知し同族間にも內地の事情を語り觀察當時の盛況を追懷し頻りに其所感を鼓吹し居れるが同地は彼の文祿の役に有名なる李滉(退溪)の出產地にして爾來今日に至る迄實文義塾と稱する漢籍塾あり專ら李一族の子孫を教育し居りしが昨年併合當時同塾の當業二名國學に憤慨したる以來日夢數學等新智識に屬する學科を中止し來りしが李は觀察歸郷後其甚だ無謀なるを諭し此等の學科を再興せしめ內地人に對する誤解を一掃して率先地方人情の融和に努め居れりといふ●慶尚北道安東郡豐南面川面里柳時一なる者も亦同じく東洋拓殖會社主催內地視察團員の一名なるが歸來母國內地に於ける諸般事業の發展豫想の外なると各地方に於ける歡迎懇篤を極めたりしを稱揚し此等は全く教育事業の完備せる結果なるを深く信ずるに至れるが同村は柳一族なる金澗家と兩班の聚落にして三百餘戸の大村なるに不拘未だ一の學校を有せざるを嘆き歸來專心其一族を勸誘し又郡守の援助をも請ふて遂に一校を創立せりといふ

●**仁川商議の總會** 既報の如く仁川商業會議所にては八日午後八時半より臨時總會を開き出席者十五名定數改正の件は重要事項なればとて島田、鳥城、竹田津、八田、高田の五委員に十分審査せしむる事に決し直ちに副會頭の選擧を行ひ田中佐七郎氏出席者十五に對する十二票の多數を以て選擧され同十時散會

●**練習艦隊出發** 仁川碇泊中なりし練習艦隊は九日午前六時拔錨旅順に向け出發せり

●**約束手形と銀行** 京城各銀行にては約束手形の支拂場所を自宅拂としたるものは一切割引せざる事とせんと目下協議中なるが近く決定實行さるべしとは一般の注意すべき事なり

●**中村滿鐵總裁** 八日夜來京したる中村滿鐵總裁は九日午前九時發東上したり

●**獨書記官の訪問** 昨朝來京したる東京駐箚獨逸大使館書記官は九日午前十一時獨總領事クリューゲル氏同伴山縣政務總監を總督府に訪問したり

●**陸軍軍樂隊慰勞** 愛國婦人會朝鮮本部にては陸軍軍樂隊が日鮮居住民娯樂の爲夏季中特に日曜演奏をなすに對し例年の通茶菓を供し慰勞せらる由

●**木盃を下賜せらる** 仁川茂木和三郎及奥田貞次郎の兩氏は過般ペスト防疫に付き相應賞上費として金圓を寄附せしより今回賞勳局より木盃下賜されたり

●**檜垣道長官の視察** 檜垣京畿道長官は八日仁川港碇泊の練習艦隊の午餐會に列席の序を以て仁川小學校の視察をなしたり

●**慶北砂金の發見** 慶尚北道英陽郡青北面中洞里の溪流に於て米粒大の砂金數十粒を發見したるものなりと云ふ

●**桒原秘書官** 東上中なる桒原秘書官は十日頃東京發郷里に立寄り歸任すべしと

●**佛副領事の着期** 當地駐在佛國副領事は交迭されたるが後任者は來る十五日頃着京の由なれば同後任者着京の上は直ちに當地出發すべしと

●**迎日漁業の漁況** 慶尚北道迎日長鬐二郡に於て八月中に漁業に從事したる漁船は內地船二十一隻百十一名(內海女四十四名)鮮漁船八十六隻三百二十四名(內海女二十二名)にして漁獲總高は鰯鯖鮑を合せて四千三百圓に上りたりと云ふ

公人私人

▲中村是公(南滿鐵道會社總裁) 八日巴城館ホテルへ 九日出發東上
▲楠原孫郎(檢事) 八日不知火旅館へ
▲吉木彌三(判事官) 八日浦尾旅館へ
▲矢鍋永三郎(財務部長) 八日不知火旅館へ
▲クリューゲル(獨逸總領事) 書記官ロイス氏同伴明石司令官を訪問せり

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
九日	一三九、一九九、三三〇	四二三

▲治外法權▼

寺內總督の歸任は十月中旬頃だと傳へられて居たが、昨今紙所載の東電に因ると本月二十日頃東京出發歸任の途に就くとの事だ、サテ茲に見物は彼れ寺內が、專任總督として歸任第一着にドンナ事をするかだ▲地方巡視も可かろう、官制改正も可かろう、併し之等は何れも消極的方面の仕事で、今度此度專任總督になつたに就いては、一種花々敷い積極的の政略をヤツテ、人心を一新さすることに勉めねばならぬ▲トコロで記者の考を以てすれば人心一新の政略は幾らもある、併し其中最も花々しくして而かも間違の良いのは朝鮮議會の開設である。▲朝鮮議會の開設、コンナ事を云つたら總督官吏は膽を抜かすであろう、併し我剛健なる寺內總督に限つてソンナ事は無い筈、で記者は日を期し朝鮮議會の効能を說くことにしよう▲京城の學校では大隈伯著國民讀本を修身科の教科書に採用したとの事、亦た大邱青年會は同國民讀本を參考書とし每月講演會を開くとの事▲久しく問題になつて居た電燈料の値下げも、日韓瓦斯電氣會社の自覺に因り愈々十二月頃から決行さるゝとの事だが、若し本當なら結構の事だ、商業會議所の交渉、本紙の忠告、共に近きに於て酬ゐらるゝか▲此頃本町通りに陶製のビリケン神を賣る店あり、價一個二十五錢、市民爭つて之れを求め、佛壇に据ゑて線香を備ふ▲本紙次號より各方面のチャンピオンを紹介せんとす、讀者諸君の投稿を願ふ。



愛妾傳（二）

清商杏花春氏愛妾

永見もと子（二）

現在親を痛めて產んで間もない乳呑兒や馴れて添ふた良人をも振り棄てゝ出奔する程のゆき子にも猶は良心の苛責はあつて決して夫れを當然とは思はれなかつた計でなく濟まないとの感はヒシ〳〵と胸に迫る、併し彼れの良心は彼れの仕事を嫌ふ心の働き程に强くなかつたと見えて出奔の途次母親にも所夫にも與々も相濟まぬ旨の詫手紙に自分の仕事嫌を打ち明けて暇を呉れと書き送つた、板垣の方にすれば乳呑兒を置いて行かれたのは困つたが仕事嫌の女房に居られては猶困る追出て呉れたが幸甚だ位に思つて格別問題にもしなかつたと云ふ此れは後の話し、扨大連に上陸した彼れは二三日滯在して居たが面白い口も無いので旅順に行つて青葉町の實榮樓と云ふのに前借金百二十圓で酌婦に住み込み內金八十五圓を鄕里に送つて捜査圓や保證圓と野暮な驅をせぬ樣〳〵申し送つて天性趣味を有する稼業に從事したが當時の旅順は露國の租借地であつたから來る客も〳〵皆露國人や露國人で日本人とては十人に一人有るかなし夫れでも露兵よりはヅツと樂だと一年餘を働いた翌年九月山田某と云ふ同縣人の鍛冶職が登樓した同縣人の加かも近村の人と云ふので互に深く成つて上り詰めて居る間に日露兩國間に戰爭が開始せられると云ふ噂が高くなつて三十七年の二月遂に夫れが事實となり日本人は退去せねばならぬ事になるや場合が場合の事とて借金は三十圓程にして貰つて山田と夫婦になり鄕里長崎に歸つて同棲して居る間に子供を產んだ 彼れ此れ二年程の間は無事だつたが彼れは二度變化なき生活に飽きて三十九年の十月從姉に當るれかよと云ふのが京城本町三丁目の池田長兵衛氏の店員朴泰榮（現在警務總監部の刑事）の妾になつてゐるのを手賴つて渡鮮して朴泰榮君周旋で杏花春氏の妾となつて本妻と同棲して居るのであるが常に睨み合の姿であると云ふ、序を以て云ふが從姉のれかよと云ふ女は以前はハルビンに於て賣春婦であつたが日露開戰と同時に佛蘭西飛んで公使館の保護を受け歸鮮後朴君の妾となつたのだ夫れ程の女であるから朴君の手に合はないので追出された後は鐵道官舍に住居の某高等官の妾になつて居るのだ（終）

●好運也京城市民

▽警務總監部の大活動

八日夜九時五十分薄曇り空にかゝる力なき月の光を浴びて歸途某所に於て當日新義州發南大門着列車中に疑似コレラ患者發生し新幕驛に下車せしめ隔離手當中なれば同列車乘客一同に對し檢疫隔離を行はるべしとの噂を耳にしたので一大事出來と折柄の仁川行終列車發前の混雜中を驛長室に驅け込り中野警務課長、山形中佐、高橋軍醫正、今村南部署長、井口警部等鳩首凝議して居る素破一大事と胸轟く間もなく井口警部は渡邊監督部長外數名の巡査と東奔西走して檢診所を稻葉旅館、山口旅館に決定して今村署長に報告す、幹部連は協議決定したと見ねて撿診方法手續等を各巡査に申渡し原籍氏名出發地等を取調ぶる旨をも命じ出迎人の入場券發賣を禁じ十時二十分の到着時間を待つて列車を南大門に邀へ擊つ準備が調ふ着車時刻四分前に至つて新幕より着電『患者は急性胃加答兒と決定したり安心せよ』と一同ホッと愁眉を開いた

●德壽宮中和殿の奇術

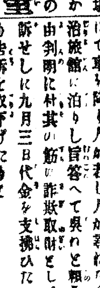
覆面冠者

八日は德壽宮殿下六十回の御誕辰日に相當せるを以て御近親及李王職高等官同夫人等を召して賀筵を張られ夜は德壽宮殿下の御覽を添ふし技神の如しとの令旨を拜したる松旭齋天勝一座の奇術を樂なはせらるべしと承はつた我輩天勝直傳の妙術を以て私に陪覽の榮を得たから當夜の光景を記して試よう。大漢門を入つて警官の詰所で當日の演技場を訊くと『最初の門を入つた所にある殿內です』と慇懃に教へられたまゝを十六夜月の光を浴びし步を進むる路の兩側には蝦夷菊の紅なるが一本一本一側列べに植ゑられたり餘りにトリ澄して風趣を缺ける憾み、中和門を入る、丹碧物々しき殿堂扁して中和殿と云ふ、釐も何かの餘興場に充てられしと見ゆ門內兩側に小やかなる天幕を張りたり、殿內正面公式の御座所は布を以て蔽はれ殿下臺覽の御席として公式御座所下に西南面して一脚の卓子と一脚の椅子とを備へらる、舞臺は即ち殿の左側に床を張り白布を一番に敷き詰め中央に絨氈を敷き胡蝶圓より天勝に贈りたる大引幕は純帳式に上下すべく樂屋の三方は紅白段だんの幔幕を引き繞らして作り成してある、陪觀者は續々と詰めかけて七時二十分と云ふに太王殿下の御席の周圍は白衣淡碧の裳を着けた宮女及び舊宮女等を以て埋められた、滿堂悉く婦人、丹塗の圓柱、白衣淡碧の裳、煌々たる電燈に照り映ねて美しい、七時三十分太王殿下は五七名の職員を從へさせられて純朝鮮式御服裝にて御臺臨に成つた、御血色と申し身の態度と申し壯者を凌がせらるべき御樣子を拜して殿妃御薨去後の長夜の御嘆きを拜察した、一座靜かなること林の如くでサワ〳〵と風の渡る如き囁きが彼處此處に起る、殿下御臺臨と云つても敬禮一つするでもなく未だ開かぬ幕を眺めて滿室白衣の人悉く風馬牛をキメ込んで居る、簡便素朴と申すには餘りに意味が無さ過ぎる、僕は列外に在つて英傑李太王殿下に恭しく敬意を表した、恐らく殿下には通じなかつたらう、併し敬意は誠意である通じたると通ぜざるとに依つて增減する所はない、七時三十五分電鈴の鳴ると共に幕は上つた（續）

●靜香女郎の詐欺

▽怖くなつて金で拂ふ

新町遊廓第一樓支店の靜香事栗原マツは貸妓ありしが八月二十八日某會社員に落籍されしに八月三十日新町三丁目遠山小間物商店に至り代金七圓余に相當する小間物を買ひ代金は例に因つて第一樓に受取りに來て呉れと云ふより翌日遠山商店にては店員をして代金受取りに行かしめたるに二十八日限り落籍され第一樓支店に居らぬとの事に付第一樓支店より車に乘せたる車夫に付何處に下車せしかを尋ねたるに明治町明治館迄との約束なりしに黃金町にて車を降り人が若し人が尋ねたら明治旅館に泊りし旨答へて呉れと賴みし由判明に付其の筋に詐欺取財として告訴せしに九月三日代金を支拂ひたるより告訴を取下げたりと



●無鑑の太夫發覺

新町遊廓大和新地松の家に於て無鑑札の女に客を取らせ賣淫せしめつゝある旨探知したる南部署は直ちに取調べたるに熊本縣阿蘇郡馬見原町生れ吉田とめ（二五）同縣熊本市新馬借町生れ白石かめ（一八）外一名に八月二十一日以降數十回賣淫せしめたる事發覺し目下取調中なるが樓主に對しては嚴重なる處罰を與ふ可しと

●朋輩の靴を盜む

京畿道仁川港牛角洞二十一統六戶當時龍山大島町四十八番地綿打業元出仲（三五）は同町同番地姓不詳の朝鮮人綿屋に職人として住み込み居りしが五日同輩元出雷所有の時計靴等を盜取し之を京城南大門內質屋へ入質せし事探知せられ龍山憲兵分隊の手に捕はる

チヤンピオン傳

近日より連載す、チヤンピオン傳は即ちチヤンピオン傳なり、蓄財、工匠、遊藝、容貌、食慾、漁色、手藝、弄花等何でも好尙の美醜に論なく其道に掛けてのチヤンピオンの傳を連載す例へば何某氏の浪花節に於ける何某氏奧樣の天理教と云ふが如し、投書を歡迎することゝ平常に同じ

チヤンピオン傳

●二拍子の鞍替

元仁川猫島遊廓壽樓の白鶴拍子田每とき（二〇）は敷島遊廓第一敷島樓に二年六ヶ月の約束にて二百圓で其の名を幾代と△元第一敷島樓の曙拍子實本はる江（三七）は差向ひの第一朝日樓へ三年三百圓で江戶奴と變名しての返り花

●濱町火災ご道路

去月三十日仁川濱町の火災に罹りたる燒跡の宅地を日本濱前より一直線に濱町海岸に通路二間半巾を築造すべく其筋にて協議中なりと

●執行猶豫の恩典

既報大島松之助（三四）の窃盜罪は懲役四ヶ月に大島政藏の賍物寄藏罪は懲役三ヶ月に處せられ三年間刑の執行猶豫の恩典を受け罰金十圓を附加せらる

●龍山に赤痢患者

龍山元町四丁目十一番戶村上悅藏は八日赤痢病に罹り朝鮮總督府醫院に入院

●跡を絶たぬ博徒

大分縣人當時新町三丁目飲食店渡邊字作（四七）岡山縣人當時本町八丁目四番戶辻幸吉（四二）の二名は八日午後八時頃より宇作方に於て花札を以て賭博を爲し南部署に檢擧され各科料金十圓に處せらる

●エスケーエスの好況

仁川宮町館智商會の特約にかゝる土耳古貨エスケーエスは愛煙家の嗜好に適し賣行頗る良好なりと云ふ

日曜集會

●日本基督教會（旭町四丁目）午前九時より日曜學校同十時より秋月致氏禮拜說教午後八時より渡邊暢氏の傳道說教あり演題左の如し

（朝）基督の與ふる安息と活動

（夕）基督信徒の受く恩寵

●メソヂスト教會（旭町二丁目）午前九時より日曜學校午前十時より藤岡牧師禮拜說教午後七時半より同氏の傳道說教あり演題左の如し

（朝）豐富なる生活

（夕）イエスとサマリアの婦人

●微笑會 午後四時より初音町臨濟寺に於て碧巖集例會提唱あり尙次週日曜日よりは涼氣加はりたるを以て午後三時よりと改む由なり

●碧巖錄提唱 若草町一丁目曹洞宗兩大本山別院內不二會にて今日曜午前九時より愈々田中道圓老師の碧巖錄を提唱あり參聽隨意八時より九時まで雲井慈雲庵宗圓宗匠の點茶指南あり

●南部署 高等室の卅分

白面子

八日午前十一時十分、南部署の高等室にれ許を受けて入室する署長今村警視は書記勤務の某巡査を相手に忙しく事務を視て居らるゝ、鈴木警部の轉任後は高等事務取扱兼任御多忙でしよう、と言ると『ナア』に屁の樣なものさ、時に面白いことは有りませんかな『夫れは私の方で申すことですよ』と本音を吐く『君は狡い何時も材料を取る斗りで持つて來ないんだから』とニコ〳〵笑ひ乍ら敷島を吹して居る『外勤警部增員後の成績は如何です』と訊くと署長は昂然として『無論好成績さ監督の行

くだりばらに、あかだま

屆く斗りでなくコンナ』と十圓紙幣の樣な物と井口警部の報告書を抓み上げて『良い報告が來るからなア』と云ふ、何んの事だか秘密に屬するので聽くこと得なんだ、机の上に京城新報がある不圖見ると大阪に於ける娼妓取締規則の改良と云ふ記事があるので夫れに對する『署長の御意見は』と水を向ける『署長として又君を新聞記者としては話されんが互に一私人としてなら話すがアレをアノマ、は京城に採用することは出來難ねもし又當局者として施行も出來ないと云ふのは朝鮮三界迄來る程の女一筋繩で行く筈が無いのだから夫れに當地は金利も家賃も內地とは比較にならぬ餘程でなければ樓主の生計費は取れないものね、食事の如きは僕も時々實地檢分を行るが決して粗食ではないもの彼れを適用する必要を感じない若しも其の必要があるとすれば料理屋に居る藝妓の待遇改良が必要である娼妓が契約年期通りに滿期歸鄕し得ないで繼續を願出るものは僅かなもので原因も借増や病氣に起因して藝妓の方は左樣でなく大抵三年のものなら七年も掛る食事待遇ともに娼妓よりは劣つて居る此の方は改正の必要を認めて居る、君も一つ新町方面を實地に視察して見給へ』と親切な事を云はれる『併し新町二十有餘軒同一の待遇はして居ますまい』と問ると『嚴重に訓示してあるから以前は兎に角現在は其の憂は無い筈だ有れば許さん』と云ふ『處で檢閱醫に面白からぬ評があるのですが……』と話してると司法主任の濱野警部が入つて來られたから邪魔をしてはならんと退室した（十一時四十五分）

●演藝だより

△壽座 浪花節芝居片岡鶴之助一座にて連日の大入なるが十日十一日の兩日は岩見重太郎九日夜からの續きものなりと因に昨紙替狂言を『宮本武藏』とせしが右は同座の都合により速かに岩見重太郎を變更したるが爲めなり

完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり

蜂印香竄葡萄酒は佛國葡萄酒の精粋なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ

發賣元 東京 近藤利兵衛

オルガンピアノ

▲定價表御入用の節は御申越次第無代送呈仕候

京城永樂町二丁目赤門前 西村樂器店

西川オルガンピアノ 朝鮮一手特約店

眼科

移轉診療

左の處に從前の通り診療致候

京城明治町三丁目本通り（東洋拓殖會社南側）

江頭眼科醫院

悪疫（あくゑき）豫防（よぼう）には

消化と毒けし THE JINTAN 仁丹（ジンタン）

を 食後（しよくご）に 四粒（りう）づ 忘（わ）れず 召上（めしあが）れ

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番●千六十八番 振替口座京城十六番

注意

猥りに村井弦齋先生を利用する類似品あり

本品の外・村井先生の實驗證明せられたるものなし

村井弦齋先生實驗證明●糠精●と命名せらるゝ

かつけ 心臓病 腸胃特效食料 糠精

證明

尾崎兄弟飼禽場ニ於テ試驗ノ結果尾崎氏製糠精ノ脚氣心臓胃病ニ偉效アルコトヲ證明ス

明治四十三年六月一日 陸軍二等軍醫正ドクトル都築甚之助印

●製造發賣元 東京中澁谷尾崎兄弟飼禽場●各地藥舗食料品店にあり

販賣元 東京麻布龍土町 宮崎南信堂藥舗 大阪出張所 大阪北區堂島船大工町一

特約店 京城本町三丁目 振替口座朝鮮二七番 電話二二七番 龜屋商店

同 若山港辨天町二丁目 振替口座東京九五一五番（電話三三九番） 福榮商店

專賣局最近製品

芙蓉初賣出

價格敷島ト同シ

東亞煙草株式會社

直輸入新荷着

英國皇室御料 グロリヤ號

永久保險附

自轉車 銃砲火藥 直輸入商

THE GLORIA CYCLE Co. Ltd. COVENTRY

瀧川銃砲店自轉車部 京城明治町二丁目（電話三〇二番）

夜間診察は九時迄

入院隨意

六〇六號注射の需に應ず

仁川病院 電話一六番

警務總監部御許可

檢查濟消毒牛乳 壹合 六錢五厘

設備の完全と清潔は本所の特色なり

はあんぜんのち、

京龍一手販賣所の牛乳は歐米式ゲルベル氏の器械にて檢查し合格したるもののみを歐米式の消毒器にて消毒したるものなれば配達後再び煮沸に及ばず其まゝ飲みてよろし

▲新鮮生バタ

そのまゝおのみてよし

京城永樂町二丁目（電話一七二〇番） 藤富國牛乳部

龍山漢江通二丁目（電話二〇二番） 藤富國牛乳部出張所

店主 藤富國太郎

顧問獸醫 肥塚正太

專務獸醫 松原重人

酪舗手 堀井平太郎

京城本町六丁目（電話三〇八番） ㋫藤富國本店

健胃下腹丸（けんゐかふくがん）

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

▲兼て御待兼の▼

▲敷島あられ

▲あげもち

㊂ 京城本町三丁目 龜屋商店 電話二十七番 四七五番 八二七番

名譽銀牌受領

キリンビール

夏物荷着

●各種簾類 ●芦屏風 ●蠅入ラズ

●各種茣蓙 ●花茣蓙 ●座蒲團

●小供車 ●飯籠 ●鉢蓋

家具、漆器、唐木製品、諸金物類、柳行李、諸荒物類

其他日用世帶道具一式

弊店は總て内地製造工場と直接特約致居候へば非常なる廉價にて小賣も卸直を以て御需に應可申候間多少共御試買之程願上候

仁川港新町一丁目（西北角）

㋡ 津田兄弟屋 電話七六九番 振替口座京城三八二番

義齒術一般

三十日間 二割引

金齒一本一圓五十錢より八圓迄

銀齒一本三十錢より一圓五十錢迄

鐵齒一本五十錢より八十錢迄

セメンツ齒一本三十錢より五十錢迄

仁川宮町一丁目（三福すし向側） 森冲院

腦病新藥

島村醫學博士有効御證明

略効

●腦充血●頭痛●神經衰弱●腦貧血●逆上●精神鬱憂●神經痛●耳鳴●大便秘結●腦膜炎●中風●卒中

神經系統諸症に多大の効あり

價 五週分貳圓 二週分八十五錢 一週分四十五錢 三日分廿貳錢

本舗 大阪心齋橋筋二丁目 東京日本橋區箔屋町 丹平商會藥房

大聲發音器

日朝 本鮮 音譜 音譜 各種品揃

音譜目錄無代進呈

地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候

朝鮮總代理店

日本蓄音器商會

京城本町 歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商

辻屋 電話二四八番 振替口座八七番

京城南山町二丁目 小倉齒修所 （伊藤組南に入る）

複方 アンチヘブリン

感冒解熱 特効劑

TRADE MARK

四季のひきかぜ、はやりかぜ、ねつ痛一切づつうの良藥

發賣元 京都市三條新京極角 川杉資善堂

藥價 二日分金拾戔 五日分金廿戔

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八番 振替口座京城十六番

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

弦齋流割烹

すゞ柿

南山町一丁目 電話千五百二番

㊎ 芙江 公州 間定期出帆

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時

公州發毎日前七時芙江着後四時半

御客樣の娛樂用として新聞雜誌并備付あり

船等の御附 京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

㋖ 九月中 滊船出帆廣告

三省丸 屯串行 九月十日前八時

天草丸 海州行 九月十日前三時

成歡丸 甕島行 九月十三日前九時

海利丸 海州行 九月十二日前五時

成歡丸 大湖芝行 九月十一日前九時

仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部 電話一七三七五〇番